

## アイダホ州：小麦作柄と気象状

2002年10月29日

### 2002年10月27日現在

10月27日に終わる1週間の農作業の中心は冬小麦の播種作業であった。平均気温は平年を北部地区では平年を4～5度F程下回った。その他の地区では凡そ平年より2度F程平均気温が下回った。全州で降水があった(0.19～0.29インチ)が農作業を止める程の雨量ではなかった。州平均農作業可能日数は6.8日であった。小麦の出芽・生育には更に降水が必要である。

2003年産冬小麦の播種は、北部地区では99%(昨年同期:96%、平年:99%)で完了し、全州で見ると98%の圃場で完了した。平年(96%)並びに昨年(95%)より早い進捗である。小麦の出芽は土壌水分不足因り遅れ気味である。全州で56%の圃場で出芽している(昨年:61%、平年:64%)。冬小麦の主産地である北部地区の出芽状況は30%であり、昨年(42%)並びに平年(55%)より遅れだした。

### 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	23	44	33	0
Last week (%)	25	41	34	0

### 小麦進捗状況：

	This week	Last week	2001	Ave.
Winter wheat planted (%)	98	96	96	95
Emerged (%)	56	48	61	64

Source： Idaho Agricultural Statistics Service

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)